

よみたん社協だより



ユンタンザ歌の会（上地力会長）チャリティー歌謡ショーの収益により本会へ福祉車両1台の寄贈がありました。車イスに乗ったまま車両に乗車できる福祉車両となっております。本村の福祉事業で活用させていただきます。

《編集・発行》



社会福祉法人
読谷村社会福祉協議会
(読谷村総合福祉センター内)

住所：読谷村字座喜味2975番地

TEL：(098)958-2939

FAX：(098)958-2189

H P：http://yomitan-syakyo.com

《今月の主な内容》

表紙：ユンタンザ歌の会様より車両の寄贈

- ◎ 平成30年度事業決算報告
- ◎ 社協会員募集強化期間
- ◎ 防災について考える
- ◎ 読老連美化活動等
- ◎ 寄付者のご紹介

平成30年度

事業報告

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

■はじめに

少子高齢化、人口減少、核家族化、さらには個人の価値観の多様化といった社会情勢の変化が進行するなか、高齢者世帯や単身者世帯の増加とともに、社会的孤立や経済的困窮に起因する地域の課題はますます多様化・複雑化しています。

地域が様々な課題に直面するなか、誰もが安心して生活できる地域共生社会に向けた取り組みを進めることが求められています。

地域共生社会を実現していくためには、生活の基盤である地域社会が持続可能であることが不可欠であり、社会的孤立といった現状を踏まえたうえで、地域の住民や多様な主体が世代や分野を超えてつながることが求められています。

このような中、本会では身近な地域の中でお互いに支え合う仕組みづくりとして、地域支え合い活動を推進するとともに、あらたに生活支援コーディネーターを配置し、地域にある様々な地域資源開発や自治会、地域住民、関係機関との協働による地域づくりを推進してまいりました。

本会では、「子どもからお年寄りまで、皆で支え合い、共に生きるむらづくり」を基本理念に掲げ、4つの基本目標（①行動する村民・地域づくり ②利用しやすい福祉基盤づくり ③取り組みを広げる仕掛けづくり ④社協の組織・財政の基盤強化）に基づいて、人々が住み慣れた地域で安心して暮らせるための切れ目のない支援や支え合いの仕組みづくりに取り組んでまいりました。

以下、平成30年度に実施しました主要な事業及び活動について報告いたします。

【法人運営活動】

- 決算監査（1回） ●伝票監査（2回）
- 理事会（5回） ●評議員会（4回）
- 評議員選任解任委員会（1回）
- 寄附金（カジマヤー、米寿・トーカチ、一般寄付、香典返し、チャリティー収益金等）54件（5,697,120円）
- 社協会費
 - ・戸別会費 2,240,500円
 - ・賛助会費 56,000円
 - ・施設団体会費 55,000円
- 第2次読谷村地域福祉活動計画の策定
- 読谷村生き生き健康センター運営事業審議委員会の設置と答申

【広報事業】

- よみたん社協だより発行（6回発行）
- 社協ホームページ

【沖縄県共同募金会

読谷村共同募金委員会への協力】

- 赤い羽根共同募金運動への協力
5,314,822円
- 歳末たすけあい募金運動への協力
2,065,381円



【地域福祉事業】

●食事サービス事業

延べ利用者数 978人、食数 4,137食

●よみっ子 summer 体験・交流学習

夏休み期間中、全8回、延べ参加者数106人

●ボランティア活動支援

- ・ボランティア団体・個人ボランティア登録者 1,048人
- ・ボランティア活動団体への助成
4団体 485,000円
- ・ボランティア保険の加入促進
加入 17件 350人
- ・ボランティアコーディネート
相談件数 117件
- ・読谷村ボランティア団体連絡協議会への支援
- ・福祉団体行事及び街頭募金等への協力
- ・ゆいまーる共生事業への支援

●第31回いもっ子サマースクール

（読谷村社協・嘉手納町社協合同事業）



●福祉教育推進事業指定校

（保育園7園、幼稚園4園、小学校5校）

●福祉教育体験の相談支援

●福祉団体・施設の連携推進

よみたん福祉運動会・よみたん福祉納涼まつり

●ふれあい相談所開設

相談利用者数 10人、取扱件数 12件

③よみたん社協だより

平成30年度

事業報告

●地域生活支援事業

- ・障がい者スポーツ「ポッチャ」体験交流会
- ・障がい者と災害を考える学習会
- ・声の広報発行事業
(聴覚障がい者への情報提供、
音訳ボランティアサークルともしび)
→広報よみたん、社協だよりをCDへ録音、
地域活動の情報提供
- ・アルコール関連で悩みを抱えている当事者、
家族への支援
- ・福祉機器リサイクル事業
(車イス、ベッド、歩行器・杖、ポータブル
トイレ、シャワーチェア貸出事業)
- ・手話奉仕員養成講座

●読谷村外出支援サービス事業

- ・概ね60歳以上の要援護高齢者及び重度の身体
障がい者に対して外出支援を行う。
登録者 40人、利用述べ回数 92回

●地域福祉ネットワーク事業

～地域における生活困窮者支援等のための
共助基盤づくり事業～

- ・地域支え合い体制づくり会議
実施状況14地域
(大木、長浜、渡慶次、大添、
宇座、都屋、瀬名波、古堅、
儀間、横田、伊良皆、高志保、
波平、上地)
- ・読谷村地域支え合い推進事業活動報告会
- ・人と人をつなぐ食料支援事業
～フードバンクによる地域づくり～
(食料提供 69件)
- ・延べ相談件数 1,333件
延べ相談人数 395人



●生活支援体制整備事業

- ・協議体(第2層協議体、第3層協議体)
- ・地域見守りあいさつ運動
- ・「今ここ つながる よみたん 2018」

●読谷村高齢者生きがい活動促進事業

- ・生活支援サポーター養成講座
- ・シニア農業 いきがい講座 あぐり読谷
- ・木工講座
- ・リメイク講座

【読谷村共同販売センター収益事業】

- (陶器、花織、ガラス製品等)
- ・第26回 読谷やちむん市
(読谷やちむん市実行委員会)
- ・「読谷のヤチムン展」(東京都)



【その他の事業】

●日常生活自立支援事業

(福祉サービス利用援助事業)

●福祉サービス苦情解決事業

●福祉資金貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)
相談件数 264件、貸付件数 13件
- ・読谷村民生金庫貸付事業
償還相談 11件、貸付件数 0件

●歳末たすけあい義援金事業

190世帯 2,188,000円

●福祉バス貸出事業

運行回数 92回

●職場・就業体験学習受け入れ

読谷高等学校

●読谷村総合福祉センターの運営

貸出件数 811件

【介護保険事業】

●居宅介護支援事業・介護予防支援事業

- ・居宅介護支援事業(ケアマネジメント)
登録者 33人
- ・介護予防・日常生活支援総合事業
登録者 9人

●通所介護事業・介護予防事業

- ・通所介護事業(デイサービス)
延べ利用者数 6,424人
- ・介護予防・日常生活支援総合事業
延べ利用者数 510人

●訪問介護事業・介護予防事業

- ・訪問介護事業
延べ利用者数 3,893人
- ・介護予防・日常生活支援総合事業
延べ利用者数 1,860人



●読谷村通所型サービスA事業

- ・わんからデイサービス(読谷村受託事業)
登録者 36人、延べ利用者数 764人

●障害者総合支援法による障害福祉サービス事業

- ・居宅介護(延べ利用者数 1,889人)
- ・重度訪問(延べ利用者数 13人)
- ・同行援護(延べ利用者数 352人)

●読谷村移動支援事業(読谷村受託事業)

平成30年度 決算報告

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

読谷村社会福祉協議会は、社会福祉事業（地域福祉事業・福祉サービス事業）・収益事業（読谷村共同販売センター）を行っています。

決算報告は、法人全体（社会福祉事業・収益事業）の決算額です。戸別会費・寄附金など財政面での地域福祉活動へのご協力ありがとうございました。

今後も地域住民・行政・福祉関係団体・企業・ボランティア等と連携し『子どもからお年寄りまで、皆で支え合い、共に生きる村づくり』に取り組んでまいります。

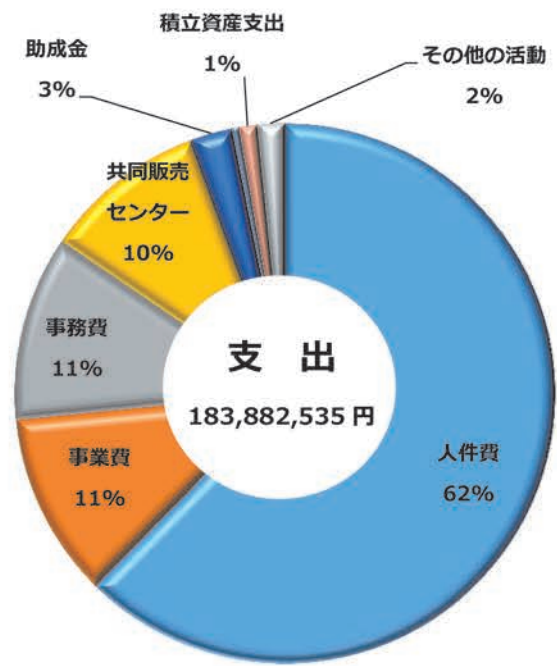
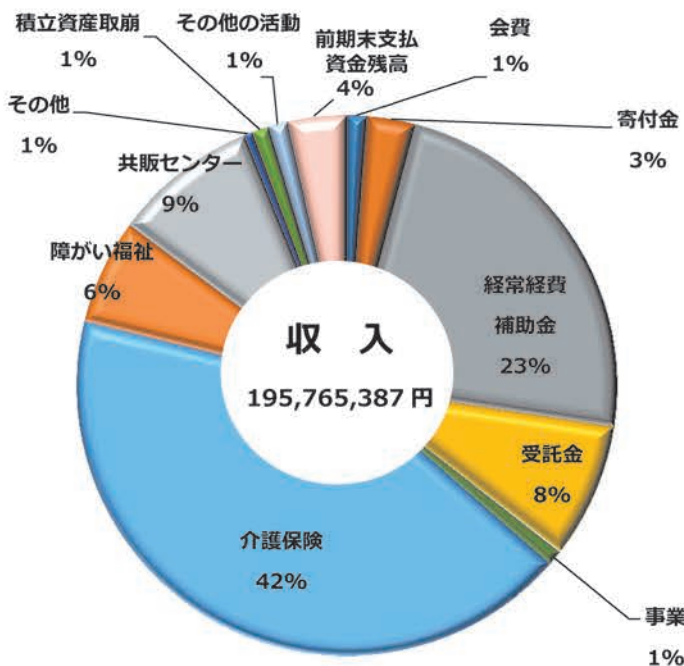
(単位：円)

資金収支計算書				事業活動収支計算書				貸借対照表			
収入		支出		収入		支出		資産の部		負債の部	
会費	2,351,500	人件費	114,682,534	会費	2,351,500	人件費	115,484,049	流動資産	38,433,804	流動負債	20,409,144
寄付金	5,697,120	事業費	20,355,946	寄付金	5,697,120	事業費	20,355,946	固定資産	151,009,478	固定負債	34,595,170
村補助金	45,640,581	事務費	20,424,050	村補助金	45,640,581	事務費	20,424,050	基本財産	64,171,200		
受託金	15,793,951	共同販売センター	18,096,507	受託金	15,793,951	共販センター	20,926,428	その他の固定資産	86,838,278		
貸付事業	172,086	助成金	4,558,974	事業	1,732,230	助成金	4,558,974			負債の部合計	55,004,314
事業	1,732,230	固定資産取得	758,484	介護保険事業	83,005,044	減価償却	4,313,935				
介護保険事業	83,005,044	積立資産取崩	2,000,000	障がい福祉サービス等事業	12,317,903	その他	40			純資産の部	
		その他	3,006,040	共同販売センター	16,956,240	国庫取崩額等(※)	△4,519,386			基本金	10,240,000
サービス等事業	12,317,903	当期資金残高	11,882,852	その他	256,118	固定資産売却損・処分損	5			国庫補助金等特別積立金	49,235,243
共同販売センター	16,956,240			受取利息配当金等	712,920	その他の積立金積立額	2,000,000			その他の積立金	43,273,000
受取利息配当金	11,118			前期繰越活動増減差額	28,771,159	次期繰越差額	31,690,725			次期繰越活動事業増減差額	31,690,725
その他	957,920			その他の積立金取崩額	2,000,000						
積立資産取崩	2,000,000									純資産の部合計	134,438,968
その他の活動	2,257,708										
前期末支払資金残高	6,871,986										
計	195,765,387	計	195,765,387	計	215,234,766	計	215,234,766	(※) 資産の部合計	189,443,282	計	189,443,282

※国庫取崩額等…国庫補助金等特別積立金取崩額

※資産の部合計＝流動資産＋固定資産

平成30年度 収入・支出グラフ



村民一人ひとりが地域福祉の担い手に！

～8月から10月は社協会員募集強化期間です～



読谷村社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせるむらづくり」を目指して、地域住民や関係機関と連携しながら地域福祉活動に取り組んでいます。

本会の財源は主に行政からの補助金や受託金、共同募金の配分金、寄付金などとなっていますが、より充実した地域福祉活動を推進する上では村民の皆さまからご協力いただく社協会費は重要な財源となっています。

村民の皆さまには本会事業及び活動の趣旨をご理解いただき、会員としてその活動を支援くださいますようお願いいたします。



社協会員加入受付中

(金額は年額)

- 戸別会員(各世帯)・・・500円(1世帯)
- 賛助会員(個人)・・・1,000円(一口)
- 施設・福祉団体会員・・・3,000円～5,000円(一口)
- 特別会員・・・10,000円(一口)

..社協会費は次のような事業などに有効に活用されています..

ボランティア活動推進のために

*ボランティアセンターの運営

ボランティア活動に関する相談やコーディネートをおこなっています。

*いもっ子サマースクール

読谷村と嘉手納町の中高生を対象にさまざまな体験を通して、ボランティア活動や地域の福祉課題について学ぶことを目的に開催しています。

福祉教育体験の実施のために

*学校における福祉教育体験

学校のニーズに合わせた福祉教育体験をサポートし、児童生徒の学習を支援しています。

高齢者等の見守りのために

*ふれあい食事サービス

見守りが必要な高齢者や障がい者等へ調理ボランティアがお弁当を作り、配達ボランティアが安否確認をしながら自宅を訪問しています。



9月1日は
防災の日です。

いざという時に備え 防災について考えてみませんか

東日本大震災から8年という月日が流れました。近年では毎年日本各地で大規模災害が発生しております。

災害は人の力では止めることはできません。しかし、いざという時の備えをすることで被害を最小限に抑えることができます。たとえ事例も多くあります。

災害による被害を少なくするには、「自助」、「共助」、「公助」の3つの繋がりが大切な基盤だと言われています。

災害による被害を少なくするために、「自助」、「共助」、「公助」について知っていただき、いざという時の「個人」で「地域」で何ができるか考えてみませんか。

自助

～自分の命は自分で守る～

防災の基本は「自助」です。大切な家族・地域を守るためにも、まずは一人ひとりが自分の身は自分で守りましょう。

自助の取り組み

- ① 災害に遭遇した時の身の守り方を知っておく
 - ② 自宅の安全対策をする
 - ③ 水や食料を備えておく
 - ④ 地域の人・物・環境を知っておく
 - ⑤ 災害に関する学習会を・勉強会に参加する
- など



公助

～公的機関による支援～

「公助」は自助や共助の力では解決できない問題を公的機関が行う支援です。

公助の取り組み

- ① 災害情報の伝達
 - ② 自衛隊や消防の救助活動
 - ③ 支援物資の提供
 - ④ 避難所の開設
 - ⑤ 仮設住宅の設置
- など



3助の 連係が重要

～隣近所・地域で力を合わせる～

自助の限界、公助の手が届かないところは、「共助」の隣近所・地域で協力し、助け合わなくてはなりません。共助の取り組みの重要性は一層増しています。

共助の取り組み

- ① 自主防災組織の体制づくり
 - ② 地域での防災訓練
 - ③ 地域内での見守り活動
 - ④ 災害ボランティア活動
- など



備蓄品（復旧までの数日間を支える物）

- 目安として最低限3日間程度の水や食料品は備蓄しましょう。
- 家族構成、住居や地域によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要な物を考えて準備しましょう。
- 家族、地域の状況や消費期限などと照らし合わせて定期的にチェックし、必要に応じて入れ替えましょう。

非常持ち出し品（災害発生時に最初に持ち出すもの）

- 備蓄品の中から、避難生活に必要なものを選びましょう。備蓄品にない場合は、必要に応じて準備しましょう。
- 玄関や寝室など持ち出しやすい所に置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。背負える袋などに入れておけば、持ち出した時に両手が使えて便利です。

【備蓄品】 ※参考

- ・ 飲料水
- ・ ご飯（アルファ米）
- ・ 板チョコ
- ・ ビスケット
- ・ 缶詰
- ・ 下着
- ・ 衣類 等



【非常持ち出し品】 ※参考

- ・ 飲料水
- ・ 貴重品（印鑑、現金等）
- ・ 食品（カップ麺、缶詰等）
- ・ 救急用品（常備薬、消毒液等）
- ・ ヘルメット
- ・ 軍手
- ・ 懐中電灯
- ・ 携帯ラジオ
- ・ ティッシュ 等
- （小さな子どもがいるご家庭は）
- ・ ミルク
- ・ 紙おむつ
- ・ ほ乳びん 等

比謝寿クラブ・牧原ときわ会の皆さん(6月)



波平老友会の皆さん(7月)



読者連
清掃活動

6月、7月は会員の皆さんが、読谷村総合福祉センターと読谷村老人福祉センター(セーラ苑)の美化活動を行って下さいました。暑い中、ご協力くださりありがとうございました。



りゅうちゃん
子どもの希望募金



琉球新報社と沖縄県共同募金会が連携して実施している「りゅうちゃん子どもの希望募金」の助成事業内定式が7月2日、沖縄県総合福祉センターで開かれ、本会が十万円の助成をいただきました。

この助成事業は、生活困窮などを理由に地域の中で孤立しがちな子どもたちの健やかな育ち、学びを支援し子どもたちの安心した生活を応援する事を目的に助成している事業です。

本会では助け合い地域づくり事業(生活困窮世帯の緊急・時生活支援)として経済的困窮世帯で子どもの制服等必要な学用品のうち、リユースできない物の購入費の一部助成に活用させていただきます。

募金へ賛同して頂きました皆様並びに琉球新報社様に感謝いたします。

福祉団体
活動紹介

読谷村精神療養者家族会

精神療養者の家族が定期的に集い

- ・病気のことや対応の方法についての情報交換
- ・お互いに励まし合う
- ・研修会への参加
- ・地域活動支援センターとの交流会等をしております。

定例会
毎月第3木曜日 14時~16時
場所
読谷村総合福祉センター(団体室)



家族学習会の様子

ひとり、ひとりが、
ひとりじゃない!



交流事業(名護桜まつり)

連絡先:「みつ葉」 958-7786

よみたんフードバンク お中元おすそ分け運動

まだ食べられる食料品を地域の皆さまや企業からおすそ分けいただき、
様々な理由で食べる物が無く困っている世帯へお届けしています！



お盆期間に寄せられる「お中元」などから、おすそ分けいただける食料品がございましたら、読谷村社会福祉協議会にて受付しておりますので、皆さまのご協力よろしくお願ひします。

お寄せいただきたい食料品は、

- 賞味期限が1ヵ月以上残っているもの
- 未開封かつ常温保存が可能なもの

- ①お米 ②缶詰 ③乾麺
- ④調味料 ⑤インスタント食品



※お酒・アルコール類は不可



困りごとはないですか？

読谷村社協では、地域でお困りの方のために
相談窓口、制服、学用品の※リユース事業
フードバンク事業、リサイクル事業等を
行っております。



お困りの方は、『読谷村社会福祉協議会』へ、まずはご相談ください。

※リユース (Reuse) とは、
そのままの形状で再度使用
すること。

お問い合わせ

読谷村社会福祉協議会 (読谷村総合福祉センター内)
☎098-958-2939

ご寄付ありがとうございました。(期間：令和元年6月11日～令和元年7月31日)

読谷村の福祉に活用してほしいと、皆様からあたたかい善意が寄せられました。
「村民がお互いに支え合い共に生きるむらづくり」の推進に努めてまいります。

◎一般寄付

- ◇知花草 2019年うりずんコンサート収益金
知花草 様 長浜 10万円
- ◇有限会社たまたつ
代表取締役 玉城榮子 様
長浜 1436番地 100万円
- ◇匿名(3件) 5万150円

◎物品寄贈

- ◇第22回ユンタンザ歌の会チャリティー
歌謡ショー収益により車両『ダイハツタント』
ユンタンザ歌の会会長 上地 力 様



有限会社たまたつ 様

◎香典返し

- ◇津嘉山 剛 様 (故 神谷 良子) 高志保 3万円
- ◇米須 良成 様 (故 米須 ウト) 都屋 20万円